



千種川

赤穂市立坂越中学校
学校だより
平成30年12月1日号
文責：安井 誠 治

教育目標：『歌声』と『あいさつ』が響き、『笑顔』があふれる学校づくり

校訓：『希望・友情・責任』

「創正」～花開く最高の一日～



気がつけば師走を迎え、2018年の成年も締めくくりの時期となりました。同時に、山々の木々が色鮮やかな錦絵を浮かび上がらせ、夜には街のあちらこちらにイルミネーションが点灯し、幻想的な雰囲気をもたらしています。朝には、かじかむ指先に息をふきかけては、冬将軍の到来を肌で感じる季節となりました。暑さに弱く、それ以上に寒さにはめっぽう弱い私にとって、これまで大事に育ててきた肉襦袢（皮下脂肪）の活躍の季節でもあります。また、年末恒例紅白歌合戦の出場者発表や、2018流行語大賞の発表など、いよいよ今年のおしめくり方を考えずにはられない師走に突入しました。

さて、中学校では文化祭が、満面の笑顔と感動の拍手の中閉幕し、特に3年生を中心に、標記テーマのもと全員が心をそろえ・力を合わせ、互いに支え合うことで、自分たちの目標を実現させることができました。そんな**集団活動のすばらしさとまじめに取り組むことの格好良さ**を、自分たちの具体的な行動で、1・2年生に伝えてくれた3年生全員に感謝します。

後に続く1・2年生も本当によく頑張りました。合唱もステージ発表もそれぞれの工夫や特徴があらわれ、素晴らしかった！これからも、それぞれの学年の長所を伸ばし、課題を乗り越え、これまで3年生を中心に築いてきた坂越中学校の文化をしっかりと引き継ぎ、これからは、自分たちの手で実行するという、強い決意を抱いていってくれることを期待しています。

すでに3年生は進路選択へ、2年生は最高学年へ向けての準備へ、1年生は先輩になる準備へと、それぞれ目標を切り替え、スタートしています。そんな子どもたちに家庭・地域でも声をかけ、励ましてやって下さい。お願いいたします。



オープニングセレモニー



和太鼓部演奏



有志ステージ



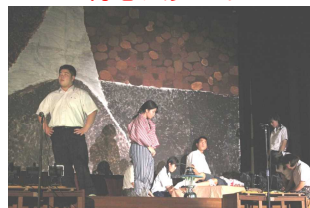
学級バザー



1年生ステージ発表



2年生ステージ発表



3-1 学級劇



3-2 学級劇

12月の行事予定

- 3日(月) 2年関西福祉大学キャリア体験学習
- 5日(水) 1年赤穂特別支援学校交流会
- 7日(金) 車いすバスケット福祉体験授業
- 11日(火) 義士講話
- 13日(木) 個別面談(～19日)
- 14日(金) 義士祭
- 17・18日(月・火) 3年習熟度テスト
- 19日(水) 給食終了



- 21日(金) 2学期終業式
- 22日(土) 3世代交流餅つき(坂越・高雄地区)
- 25日(火) 冬季休業日(～1/7)
- 1月8日(火) 3学期始業式
- 9日(水) 3年中間テスト
- 1.2年課題テスト
- 22・23日(火・水) 3年進路相談



【弁当持参】

《校内合唱コンクール「笑顔のハーモニー」》



11月9日(金)の文化祭において、校内合唱コンクールを開催しました。学年やクラスでは、音楽の時間と放課後に続けてきた練習の成果を披露し、素晴らしい合唱コンクールになりました。

結果、金賞は3年1組・2組、銀賞は2年1組・2組、指揮者賞は大搦弘晟君(3年1組)・濱村俊君(3年2組)・久保悠人君(2年1組)・山本夏渚さん(1年2組)が受賞しました。

1年生から3年生までどのクラスも甲乙つけがたい、大変レベルの高いコンクールでした。これからも、笑顔があふれ、歌声が校舎中に響きわたること、益々楽しみにしています。

たくさんの保護者の方々や地域のみなさまに聴いていただき、大きな拍手で、盛り上げて頂きました。

※温かいご声援、誠にありがとうございました。
心より感謝申し上げます。

坂越・高雄地区ふるさと祭り参加 平成30年10月28日

10月28日(日)、ふるさとまつりが開催されました。坂越地区には16名が参加し、朝市・うどん販売・福引き・輪投げ大会のお手伝いをさせて頂きました。高雄地区では13名が参加し、チュロス販売を手伝えました。また和太鼓部の演奏も披露し、好評を得ました。今年も地域のみなさんと生徒とがふれあう、よい機会となりました。



坂越・高雄地区清掃活動参加 平成30年11月3日

11月3日(土)を基準日として、坂越中学校区で地区清掃がありました。坂越中学校の生徒も参加しました。それぞれの地域でゴミ拾いや草抜きなどのお手伝いをさせて頂きました。短い時間でしたが、地域のみなさんや保護者のみなさんと生徒とが触れ合い、ふるさとを美しくする、大変よい機会となりました。お疲れ様でした!



心温まるエピソード! 【坂中版 のじぎく賞】

つい先日、坂越小学校からこんな電話がありました。「本校の低学年児童が下校中に道路で転んでしまったそうで、その際通りかかった男子中学生2人が協力して、その児童を自宅まで背負って送り届けてくれたようです。お礼が言いたいのですが、該当生徒の確認をお願いできないでしょうか。」という内容でした。後日尋ねてみると、3年生の小郷君と塩本君であることが分かりました。二人に聞いてみると、小学生が転んで困っている様子だったので、駆け寄って「大丈夫か?」「おんぶしたるか?」と聞いたところ、「うん!」という返事が返ってきたので、2人で協力して、児童を自宅まで送り届けてあげたそうです。

人として当たり前行動だとは思いますが、その当たり前がなかなかできない! 自分を振り返ってみると、心では思っても、いざ行動に移すときに二の足を踏んでしまう……。

この話を聞いたときに、職員室では自然に拍手が起こり、温かさに包まれました。こんな行動力のある、優しい気持ちの生徒が坂越中にいる。それも特別なことではなく、ごく当たり前になってしまおう。すごいですね! きっと、坂中にはそんな生徒がたくさんいるに違いない! そう感じさせてくれる、心温まるエピソードでした。



